



今年7月に結成され、初めての舞台となった「枕崎少年少女合唱団」。「ほたるこい」など3曲を立派に歌い上げ、大きな拍手が送られました。



「市民の夕べ」に登場し、パワフルなステージで会場を盛り上げたARTS。幅広い年齢層の観客が曲に合わせて踊りました。

市総合文化祭

第40回枕崎市総合文化祭が10月28日から11月5日まで開催されました。芸能祭のほか、学校音楽祭や市民の夕べ、展示部門では絵画や書道、盆栽などが展示され、かねてから文化に親しんでいた市民らが、日ごろの成果を発表しました。

芸能祭は、昨年よりも10団体ほど多い49団体が参加。子どもから大人まで歌や楽器の演奏、踊りなどを堂々と披露し、例年以上に盛り上がりました。

今年の秋祭りは熱い！例年、大勢の人手になぎわつ「新酒祭り」と「農業祭」。今年は更に「枕崎ぶえん祭り」も加わり、これらが開催された10月29日は、市内外から大勢の人々が祭り会場に繰り出して一日中になぎわつしました。また、28日・29日は豊祭も行われ、太鼓踊りの鐘の音や棒踊りの威勢のよい掛け声が秋の空に響き渡りました。

11月3日には市総合文化祭の芸能祭が行われ、出演者たちが日ごろの練習の成果を披露しました。

秋の祭典

盛大に

新酒祭り

新酒まつりが薩摩酒造明治蔵で開催され、多くの焼酎ファンや家族連れなどで賑わいました。

今年は原料のさつま芋が天候に恵まれて生育が良く、焼酎も最高の出来。ふるまい酒のコーナーでは、コガネセガンとベニハヤトの2種類の芋で仕込んだ焼酎がふるまわれました。

また、この日限定の新酒800本が30分で完売するなど、焼酎人気の高さがうかがえました。



「新酒」の文字を題材にした書道コンクールの表彰式があり、特選に選ばれた枕崎小学校5年生の上久保雄大君の作品が、焼酎のラベルになりました。

人気のふるまい酒コーナー



ぶえん祭り

漁船海難遺児チャリティーと内閣総理大臣賞を受賞した「枕崎ぶえん鯉」のPRなどを目的に、今年初めて開催された「枕崎ぶえん祭り」。枕崎漁港新外港市場に設置された会場には、新鮮な魚を買い求める客で大いににぎわいました。

食堂では、カツオのにぎりやタタキなどが食べ放題とあって、テーブルは満席が続きました。また、ステージでのコンサートやイセエビなどの賞品が当たる抽選会などで終日盛り上がりました。



ぶえん鯉試食コーナー



シビなど鮮魚販売コーナーは大人気



歌手・瀬戸佑希さんのコンサートなどステージも大盛況

農業祭

JA南さつま枕崎支所で開催された農業祭。新鮮な農産物の販売や舞台上では子どもたちによる踊りや歌などの演芸大会が催され、終日楽しみました。



歌手・黛ジュンさんのコンサート。気さくに舞台から降りてきた黛さんに握手を求めています。

豊祭

南方神社、妙見神社で10月28・29日、秋の収穫に感謝する恒例の豊祭(ほぜ)が行われ、郷土芸能、「山下・水流太鼓踊り」「東鹿籠太鼓踊り」「山口棒踊り」が奉納されました。

太鼓を叩きながらの踊りと歌の調子が優雅で重厚な太鼓踊り。歌に合わせて、掛け声とともに棒を振りかざす勇壮な棒踊り。神社への奉納のほか福祉施設などで踊りを披露し、観る人々を元気づけました。

